

やとみ

議会だより

No.

21

2011年
5月発行



らくがきアート

4/3 らくがきあそび(海南こどもの国)

平成23年2月臨時会・3月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011

▶ 筏川桜緑地（総合社会教育センター前）の桜の下で遊ぶ南部保育所児【4月7日】



3月

定例会

3月定例会を3月4日から24日までの会期で開きました。

市長から23年度当初予算など31議案が提出され、原案通り可決しました。

一般質問には13人が登壇しました。

23年度予算

一般会計149億2千万円
（前年度対比0.3%増）と、国民健康保険など7特別会計を併せた79億1千444万円
（前年度対比8.9%減）が計上されました。

主な新規事業は、（仮称）第2桜小学校建設工事費【11億2千140万円・】、中学2年生全員を広島県に派遣する平和教育推進事業【2千10万円・関連記事12面】や、28年度までの完成を目指す新庁舎の建設資料作成【1千550万円・関連記事

事15面】などです。

 桜小学校マンモス化対策となる新校。25年4月開校を目指し、旧弥富中学校跡地（＝平島町地内）に整備する。

質疑

質疑（佐藤博議員）

（1）補充保育士等の臨時職員賃金が1億3千662万円で、大変高額である。

臨時職員の人数と、正規職員との割り合いは。

（2）海南病院施設整備事業補助金【】について聞く。

施設と器具等の金額が減った場合は、補助金が減るのかどうか。

 海南病院改築に伴い、愛西、蟹江、木曾岬、飛鳥の

主な内容

定例会の審議内容
議案質疑……………2～4

一般質問（13人）…5～17
やとみフラッシュ…18

表紙の説明

「みんなであそぼう」が4月2日、3日の両日、海南こどもの国で行われました。

道路や施設の床等は、この日限りのキャンバスとして開放。

大人も子どももチョークを使って、普段できないことがき体験を楽しみました。



近隣市町村とともに15年間で約19億円の支援を行い、市はそのうち約8億円を負担する。
29年度までに入院・診療棟の一部改築、救急医療体制の充実等が計画されている。

答弁（児童課長）

(1) 正規保育士は102人在籍しており、そのうち産休・育休中の保育士が16人である。

臨時保育士は延長保育対応、調理員等を含み、常勤換算で78人である。

答弁（副市長）

(2) 医療は公共的要素が強く、市を含め周辺市町村の地域医療を担う海南病院に、行政として支援する考えでスタートしたものである。

最終的に大きな隔たりがあれば、海南病院運営委員会で協議することになると思うが、現在の段階では時期尚早かと思う。

質疑（杉浦議員）

(1) 精神障害者の医療費助成は、精神疾患だけに限定されているが、愛西市は精神障害以外の病気も助成費が出る。

ぜひ適用できるようにしてほしいがどうか。

(2) 子ども医療助成費について、県が通院も中学校卒業まで無料を拡大すれば、市予算が浮くのではないのか。

答弁（保険年金課長）

(1) 市は、精神障害者手帳1、2級だけでなく、手帳がなくても）精神疾患の入院者まで助成を拡大している。

今の段階では、この制度の拡大は考えていない。今後、市長会を通じ県に全疾患の医療費が無料になるよう、要望していきたい。

(2) 市は19年度より入院、通院ともに中学校卒業まで医療費無料を拡大したが、その分は市負担となり、多くの費用を必要としている。県が制度を拡大すれば、5千600万円の補助が増えることになる。機会を見て市長会を通じ、県に要望する。

質疑（安井議員）

(1) 高齢者給食サービス【】のチケットは、旧弥富地区の利用者が95%と偏

っている。

高齢者が納得できる方法を考えるべきではないか。

 市が定める要件を満たした一人暮らしの高齢者等を対象に、昼食宅配を主に行うサービス。

宅配に代えて、利用券（11カ月千円分。総合福祉センター喫茶室で利用可）を選択できる。

(2) 23年度、保育料等検討委員会が設置されることから、保育料を見直すのではないかと思う。

低所得で生活保護基準に近い人たちが、過大な負担にならないようにしてほしい。

延長保育料も今以上の負担にならないようにしてほしいがどうか。

(3) 十四山中学校武道場建設の規模、場所は。

(4) 地域活動支援センター十四山【】の利用料は無料だが、市外の施設に通う人は1割負担になっている。この不合理を行政としてどう考えているか。

 十四山福祉授産所が法改正に伴い移行した施設で、障害者が創作活動等の軽作業を通して社会復帰を目指す通所型施設。

答弁（介護高齢課長）

(1) 当面の間、地域ごとの利用人数等も見て、配食サービスも含め、給食サービスの検討も一度していきたい。

答弁（児童課長）

(2) 所得に応じた保育料の額を慎重に検討していく必要があると考えている。

答弁（教育課長）

(3) 現在、市内3中学校のうち武道場がないのは十四山中学校である。

建設場所、構造は、今回の地震の関係もあるので、今後、関係機関や学校と打ち合わせて決定していきたい。

答弁（民生部長）

(4) 従来、福祉授産所であり、その継続ということで今も無料にしている。

平等ということから言えば、今後どういう方向がいか、一度考えたい。

質疑（三宮議員）

(1) 予算説明資料の改善について、図表等で工夫してほしい。

数量が分かるものにしてほしいがどうか。

(2) 国が、補助金や交付税の機能を下げず、市町村が行財政運営ができる仕組みを壊さないようにしていくことを、市町村長や地方六団体と協力して守っていくことについて、市長の考えを聞く。

(3) 市の減免制度や救済制度について、いい制度をつくっても実際に利用されない原因について、見解を聞く。

答弁（総務課長）

(1) 「予算概要説明資料」は20年度当初予算から作成しており、毎年研究を重ね少しずつ改善している。

「予算に関する説明書」は、市の表現が一般的な形であると思うので、これは今まで通りに進めていきたい。

答弁（市長）

(2) 今後いろんな会議を通じ、われわれ地方が要望し、補助額の減額につながることをのまないよう努力していきたい。

答弁（民生部長）

(3) 減免制度は広報等で周知しているが、制度を知らない人もいるようである。

市税、国民健康保険税、介護保険税の減免制度の一覧表等を作成し、窓口に来る人に案内したい。

まず窓口で相談してもらうことが第一だと思っている。

討論

賛成討論（杉浦議員）

23年度予算案は、県下でもトップクラスの子育て支援や、懸案だった（仮称）第2桜小学校建設費を盛り込むなど、市民の要望に応えるものであり、賛成する。

採決

全員賛成で可決

市長給与の削減

市長提案により、市長の給料月額と期末手当（Ⅱ賞与）を24年度末まで7%削減するものです。

改正後の給料月額は、93

万円が86万4千円に減額されます。

質疑（佐藤博議員）

特別職報酬等審議会で給与額を決定すべきではないか。

答弁（人事秘書課長）

今回上程した条例は、（期限付きの）特例を定めるものであり、給料額の水準を見直すものではないため、審議会に諮る必要は生じないと考えている。

採決

討論なく全員賛成

子育て支援センターを新設

改築した弥生保育所に隣接する「弥生子育て支援センター」を、4月25日に設置するものです。

同時に、従来の「市子育て支援センター」を「ひので子育て支援センター」に名称を改めるものです。

採決

質疑・討論なく全員賛成

2月臨時会

2月臨時会を25日に開きました。

市長から、補正予算1議案が提出され、原案通り可決しました。

22年度一般会計補正予算

国が全額負担する交付金を利用し、図書館と小中学

校に書籍やブルーレイプレイヤー等を購入するため、800万円を追加補正するものです。

採決

質疑・討論なく全員賛成

6月定例会の開催日程(予定)

期 日	日 程	放映予定
6月 1日(水)	本会議(議案説明など)	
9日(木)	本会議(一般質問)	○
10日(金)	本会議(一般質問)	○
13日(月)	本会議(議案質疑)	
14日(火)	建設経済委員会	
16日(木)	厚生文教委員会	
17日(金)	総務委員会	
21日(火)	本会議(委員長報告・討論・採決)	

～ケーブルテレビ中継～
午前10時～会議終了まで
(録画放映は当日午後7時～予定)

※日程は、変更になる場合がありますのでご了承ください。

東日本大震災

お見舞い、

申し上げます

このたびの震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

また、震災で尊い多くの命が失われましたことに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

弥富市議会では3月16日、東日本大震災の義援金として、中日新聞社会事業団を通じ、37万円を送りました。

皆さまの安全と健康、そして一日も早く被災地が復興できますよう、心よりお祈り申し上げます。

炭 竈 ふく代 議員



投票所入場券を工夫し、 期日前投票手続き簡素化を

問

期日前投票について聞く。

(1) 21年と17年の衆議院選挙を比べ、期日前投票の利用率にどれくらいの違いがあったのか。

(2) 期日前投票の利用者は、非常に増えている。

市は期日前投票を円滑にする方法として、宣誓書の様式をホームページに掲載しているが、知らなかったという人もいる。

こうした方法の周知はどうしているのか。

(3) 投票所入場券の裏側に、宣誓書の様式を印刷する方法を、津島市や蟹江町などが取り入れている。

自宅で記入すれば受け付けの不安を解消し、手続きも早く、混雑の回避にもつながると思う。

市も導入してはどうか。

現状の記載事項 も大切である

答 総務課長

(1) 17年の利用率は10・75%で、21年の利用率は17・31%だった。

(2) 従来から、選挙時期に選挙だよりを各戸配布しており、2月の県知事選挙から宣誓書のことを掲載した。

今後と同様に周知していきたい。

答 市長

(3) 期日前投票(受け付け事務)にパソコンを導入し、投票でそんなに待たせることはないと思っています。

投票所入場券の



弥生保育所に設置された看板

問

駐車場にハート・ プラスマークを

裏には、さまざまな注意事項が書いてあり、それは大変大事なことだと思っている。

ハート・プラスマーク【心】などについて聞く。

外見では分からない内部障害、内臓疾患患者への配慮を啓発するマーク。NPO法人が定

め法的拘束力はないが、全国的に利用が広がりつつある。

(1) 内部障害者は外見が健康そうに見えるため、さまざまな誤解を受けている。

周囲の理解が必要なことを広く啓発していくべきだが、市の対策はどうか。

(2) ハート・プラスマーク、マタニティマーク等のさまざまなマークを、公共施設駐車場に表示してほしいがどうか。

弥生保育所で 導入した

答 総務部長

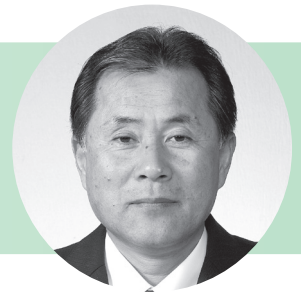
(1) 今後、広報などを通じた啓発を検討したい。

答 市長

(2) 弥生保育所(駐車場)で導入し、車いすマーク、ハート・プラスマーク、マタニティマークを1枚のボードで示している。

今後は公共施設で1枚のボードによる兼用型を導入していきたい。

佐藤 高 清 議員



生涯学習を地域一体となつて行う方策はないか

問

生涯学習について聞く。

- (1) 組織や体制、現状や今後の展望はどうか。
 - (2) 文化財等の有効活用についてどう考えるか。
 - (3) 家庭、学校、地域、企業を巻き込むことで、大きな相乗効果を生み出すことができるのではないか。
- 地域振興の指針を聞く。

推進計画策定に努めたい

答 社会教育課長

- (1) 4月より社会教育課を生涯学習課に名称変更し、新たなスタートを切る。
- 各種講座は年間を通じ、子ども対象23件、親子向け4件、一般向け47件を設けており、講座終了後に(参加

文化財の説明を行うボランティア(写真左)



- 者) 団体を立ち上げ、毎週活動している団体も数件ある。
- 今後はさまざまな事業を展開し、アンケートなどの実施により、多くの市民が参加できる体制づくりに努めていきたい。
- (2) 文化財等の保護、伝統

芸能等の伝承を支援し、市民生活の中に生かしていくことが大切である。

弥富ふるさとガイドボランティア(写真右)の協力により、史跡、文化財等の案内に活躍してもらっている。

今後も学校教育との連携、学習ボランティア活動推進に努めていきたい。

21年3月に発足した、市の史跡、文化財等を紹介するボランティア。森津の藤まつりなどのイベントや、市内外の団体へのガイドを行っている。

- (3) 総合計画に記載されている生涯学習推進計画の策定に、今後努めていきたい。

地域の史跡、伝統芸能等を学習資源とし、活用できる環境づくりに努めたい。

文化、スポーツ等を実施する地域団体に地域づくり補助金を交付し、22年度は20件の交付団体があった。まちづくり出前講座については、21・22年で4回実

施している。

育児支援組織の活用状況は

問

ファミリー・サポート・センター(写真)はどのように活用されたのか。



育児支援を望む人(以下「利用会員」と援助したい人(以下「協力会員」)が登録し、保育所送迎や一時預かり等を行う会員制組織。

対象は生後8カ月～小学6年生、報酬額は1時間700～900円。22年4月からスタートし、市はシルバー人材センターに委託している。

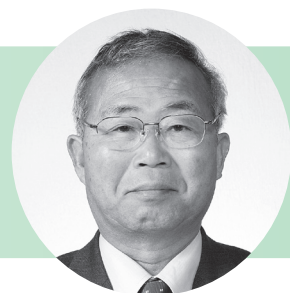
延べ69回利用された

答 児童課長

2月末時点で利用会員は126人、協力会員43人、両方会員が4人、利用は延べ69回である。

主な内容は送迎、一事項りで、時間は1時間以内の利用が多い。

三 宮 十五郎 議員



排水路の環境対策として 水質浄化剤に補助金を

問

バランスの取れた下水対策について聞く。

(1) 鯛浦地区を中心とした、排水路の環境保全に寄与する（水質浄化剤を散布する）実験事業は、地域づくり補助金の対象事業としてふさわしいのではないか。
(2) 今後の下水道計画について、イオンタウンのような高度な処理能力を備えた浄化槽は下水道と分離し、いざというとき活用できるよう、災害を想定した計画にしてほしいがどうか。

根本の排水路改修に努めたい

答 市長

(1) 水質浄化剤は長期的にやらなければ効果は生まれ

ず、その効果を疑うこともいろいろな自治体から聞いている。
それよりも、根本的な排水路の改修を進めることを努力していきたい。



▶海部地域の下水処理を行う日光川下流浄化センター（上野地内）

地域づくり補助金は拒むものではないが、本当に効果の上がるものならやってほしいが、行政側とよく協議してほしい。

(2) （公共）下水道事業は、22年3月末から平島地内を中心に供用開始している。

海部全域の事業であり、市はこの計画を粛々と進めていくことを考えている。

下水について、市民の満足度は低い。それを高めていくのが行政の仕事と思っている。

税の滞納処分は 貧困者救済を

問

税の滞納について聞く。

(1) 最低生活を脅かす強制的な徴収をしない基準

【金】の実施が始まった。（開始から）どのような対応がされてきたのか。

22年度より実施中。処分する財産がなく、かつ生活費が生活保護基準の1.1倍以下の場合、滞納処分を停止できる要件の

一つ。他に生活保護受給者もこの対象者である。

(2) 本当に貧困で納税できない人を早急に調査し、滞納処分停止を通知する仕組みに手を付けてほしい。

国民健康保険税は過年度分を滞納している人が結構いるので、収納は現年度分を中心に切り替えてほしいがどうか。

該当者は処分しないよう指導

答 収納課長

(1) 22年12月までの生活困窮者の停止処分件数は39件で、31件は生活保護受給者である。

残りの8件の市税、国保税の滞納処分停止額は約503万円に上っている。

(2) 保険年金課と連絡を密にし、滞納者へ聞き取り調査も行い、（滞納処分が停止可能な）該当者は停止へ持っていく、納められる人は分割等を指導していく。

小坂井 実 議員



無灯火の自転車対策に 反射テープの配布を

問

夜間に自転車が無灯火で走って来ると、何も見えな
いときがある。

ライトはつけるべきだと思
っているが、市も反射テ
ープ等の配布や自転車置き
場で貼るなど、対策をして
はどうか。

装着確認できる 方法で配布したい

答 防災安全課長

啓発等で配布しているが
利用されない例が多く、今
後も装着が確認できる方法
で配布していきたい。

本人の了解なしに反射材
を貼るのは、個人所有物に
実施できない。防災安全課
窓口で希望者に配布を行う。
無灯火等の取り締まりは、

警察にも要請していきたい。

便利な消火ノズ ル交換に助成を

問

消火ホースの格納備品に
ついて聞く。

(1) 「噴射ノズル」の筒先は、
シャワー等、状況に合った
放水ができ、消えればその
場で止めることができる。

ノズルの先端を取り換え
ることもできるので、補助
対象にしてほしいがどうか。
(2) 筒先の盗難があったと
聞いた。消防団、自治会に
確認を頼みたいがどうか。

交換も今後、 対象としたい



答 防災安全課長

(1) (新規に筒先) 1本ごと
買う場合、補助対象になる。

先端部の取り替えは現在
対象にしているが、要綱
を改正し対象として85%補
助を行っていきたい。
(2) 全区域を確認するよう、
消防団に指示している。

堤防を避難場所 として活用を

問

防災について聞く。

(1) 大型台風による高潮、
地震による津波対策として、
防災広場はもとより、建設

に入る(仮称)第2桜小学校
校庭、公共施設敷地は思い
切り土盛り(11かさ上げ)し、
避難所、テント生活も想定
した場所として、造成すべ
きではないか。
(2) 木曽川の左岸堤防に車
を通すことで堤防を踏み固
め、避難場所に指定するこ
とを、国に働き掛けてほし
いがどうか。

堤防自体の強化 を国に依頼

答 防災安全課長

(1) 大潮満潮時より高い敷
地にする場合、3m以上の
土盛りが必要となり、現実
的な対応ではない。

答 市長

(2) 今回の地震を教訓とし、
市の防災計画を根本的に見
直していく。

堤防道路は車が通ること
で強化されることはない。
車を通すかは国の判断で
あり、市は堤防そのものの
強化を依頼している。

安井光子 議員



24年度からの介護保険料は 所得に応じた細かい設定を

問

介護保険について聞く。

(1) 市は、第5期介護保険事業計画【一】を、23年度中に策定する。

国は、全国平均で（65歳以上の月額）保険料が5千円を超える見込みであると、新聞等で発表されている。市はどう試算しているか。



計画は保険料算定の基礎となり、3年ごとに見直す。



第5期は24～26年度で、保険料は高齢者数やサービス利用状況等を考慮し、市区町村が独自に決定する。

(2) 保険料の段階【一】を、10段階など区分を多くすることを提案する。津島市は12段階である。

低所得者の保険料率を下げ、高所得者の保険料率を上げてはどうか。



市の65歳以上の保険料は、基準額の0.5～1.5倍まで6段階に分かれ、所得に応じた保険料を徴収している。

(3) 21年度、保険料の減免を受けた人は4人である。

ケアマネジャーや介護職員に制度を理解してもらい、申請を勧めることが必要ではないか。

(4) 特別養護老人ホームの市の待機者は、22年9月現在、320人となっている。

待機者解消をどのように進めるのか。

過重な水準にしない配慮が必要

答 介護高齢課長

(1) 第4期は全国平均4、160円だったが、第5期は5千円を超える見込みも示されている。

保険料は、計画策定委員会に諮っていききたい。給付と負担のバランスも図っていくことが、大事と思っている。

(2) 保険料水準が過重なものとならないような配慮も必要と考えている。

多段階の設定は、県下でもたくさん採用されているので、今後、計画策定委員会で諮っていききたい。

(3) 今後、ケアマネジャー等が集まる会議で制度を説明し、周知に努めたい。

(4) 輪中の郷（＝大藤町地内）が増床を計画、検討しているという。

待機者解消は、（新規）事業所参入に期待し、環境整備に努める必要がある。

新保育制度の検討中止に努力を

問

幼稚園、保育所を一体化する「子ども子育て新システム」は、保育料を収入に応じた応能負担から保育時間単位の応益負担にするなど、格差拡大と保育水準の引き下げ、子どもと親に負担を押し付けるものである。

検討をストップすべきと考えるが、市の見解はどうか。

必要に応じ発言していく

答 児童課長

市は待機児童が出ないよう努め、保育所増改築の計画等に努めている。

今の保育行政を維持するため必要に応じ、市長会等で国に対し考えを発言していくことも、必要だと考えている。

立 松 新 治 議員



鳥インフルエンザに どんな対策をしているのか

問

鳥インフルエンザ【】
等について聞く。

鳥類間で感染するインフル
エンザで、16年以來、全国
各地で発生している。

鳥から人への感染力は弱い
が、致死率は高い。人から人への感
染例、鶏肉や鶏卵を食べて人に感
染した例はない。

発生時は、発生農場の鳥類の殺
処分や、周辺養鶏業者の鳥類の移
動規制などが行われる。

- (1) 市の養鶏農家数、飼養
数、(発生時に影響を及ぼ
す可能性のある)半径10km
以内に何戸で何羽いるのか。
(2) 対策として(養鶏農家
は)、①人、車の消毒②野
鳥の侵入防止ネットの敷設
やネズミの駆除③飲料水の
消毒管理―など大変な努力
をしている。
市としてどんな対策を行
っているのか。
(3) 弥富野鳥園(Ⅱ湾岸弥
富IC南側に位置)はどんな

対策をするのか。

- (4) (農作物被害の原因は)
鳥類が最も多いと思うが、
米の苗の採食などで被害面
積が増加している。
その現況と対策を聞く。

養鶏農家に 石灰を配布した

答 農政課長

- (1) 市内に3戸の養鶏農家
があり、約3万2千500羽で
ある。

- 市で発生した場合の半径
10km以内の農家戸数と飼養
数は、鳥ヶ地地区で発生し
た場合は9戸で約8万3千
羽。稲元地区で発生した場
合は8戸で約6万3千羽。
鍋田地区で発生した場合は
3戸で約2万6千羽である。
(2) 3軒の養鶏農家に(消



る。

野鳥等の大量死
は市担当課で対応
するが、窓口は県
であり、簡易検査
は家畜保健衛生所
が行っている。

- (3) 関係者、来場
者に靴等の消毒を
行っていると聞い
ている。

(発生時は施設
を管理する)県と
連絡を取りながら
(対策を)行ってい
きたい。

- (4) 毎年、麦、水稻の苗等
の被害面積が増えており、
苗は植え直す所もあると聞
いており、有害鳥獣は海部
南部猟友会に委託し駆除し
ている。

自己対策としてピストル
による雷管撃ち、ロケット
花火、爆竹等により対応し
ている。さらには対策研修
会等も行っている。

今後は、鳥獣被害対策補
助金の交付を国・県へ要望
していきたい。

毒効果がある)消石灰20kg
を各10袋、自己防衛として
使用するよう配布している。
万が一インフルエンザが
発生した場合、県が防疫作
業を実施する。150人態勢を
執ると聞いており、市へも
30人ほど協力要請がある。
市として発生農場の防疫
措置等に協力、支援をし、
24時間態勢を執るよう各課
へ協力依頼している。防疫
服は県より貸与されるが、
市も30着ほど購入予定であ

佐藤 博 議員



土地改良事業は一部直轄化を含め、事業仕分けを

問

農業政策と土地改良団体（以下「団体」）を聞く。

- (1) 団体職員の給与体系は、どのようになっているのか。
- (2) 団体の中には、事業費より人件費など経常経費が上回っていると言われていると聞く。
- (3) 排水事業等は、農家だ

けではなく市が直轄してやるべきではないか。

団体が行政のどちらがやるべきか、事業仕分けが大事だと思うがどうか。

- (4) TPP【】問題について、国は農地集約へ取引仲介する検討に入ったと、新聞に掲載された。市も先頭に立つて検討してほしいがどうか。



米国など9カ国が参加を表明し、すべての物品の関税撤廃に向け、協議中の自由貿易協定。日本も参加を検討している。

団体の合併協議を開始したい

答 開発部長

- (1) 団体ごとに給与に関する規定を設けている。

市（職員）の給与に準じることになっており、そのように支給されていると思う。

- (2) 22年7月に「土地改良区を取り巻く状況と課題」と題し論議し、厳しい財政運営、業務執行体制の弱体化、施設管理と計画的な更新整備を重点に協議し、市の考え方として、弥富、十四山および孫宝排水土地改良区の合併を打ち立てた。

農家負担の軽減を図るためにも、23年度より、少しでも早い時期に合併できるように、協議に入りたい。

答 市長

- (3) 農家の経常賦課金は、（市内3土地改良区）平均

が10a当たり7、424円で、大きな負担になっていることは十分承知している。用水は受益者（＝農家）負担がいいと思うが、排水路は（非農家も利用する）生活雑排水も流れて来る。

市全体で負担する考え方になり、農家の排水賦課金【】は23年度予算計上し、20%を削減していきたい。

経常賦課金に対する一つの新しい考え方として、市民にも理解してほしい。



市内6カ所にある排水機は、鍋田、十四山および孫宝排水土地改良区が管理している。その排水管理に伴う費用として、賦課金を当該区域農家が負担している。

(4) （農地の）大規模化は、

今もJAを中心に組み立てられている。産業としての農業の位置付け、食の安全など、さまざまな観点から国民の合意を得ないと、安易に参加すべきではない。

コスト削減だけでは解決できないことが、TPPの難しい問題だろうと思っている。

山本 芳 照 議員



高潮防潮堤の老朽化対策を
国に要望を

問

23年度の主要施策について尋ねる。

(1) 市制5周年記念事業として、伊勢湾台風を題材にしたミュージカルを行うと聞いたが、時期と会場は。

(2) フレンドシップ継承事業（ ）は、（県）予算が付かなければ終了するのか、これからの考え方を聞く。

愛知万博の余剰金を活用し、県内市町村が各種国際交流事業等を行っている。
全額助成だが、助成は23年度で終了する。

(3) 子ども会の会旗34旗は、なぜ一遍に取り換えるのか。

(4) 白鳥学区の防災広場は、（用地選定中で）2年ほど手が付けられていない。

23年度も引き続き交渉していくのか。

(5) （臨海部にある）防潮堤

は老朽化を指摘されており、国に対し早急に見直すことを要望しなければならぬ

がどうか。

(6) 観光課を設置する話があったが、どこにどう設置するのか。

(7) 23年度から、市立中学2年生全員を広島県に派遣するが、具体的な内容は。

促進されるよう
要望したい

答 企画政策課長

(1) 9月25日2回公演を、総合社会教育センターで予定している。

(2) 24年度から県交付金がなくなるので、現状を精査し、継続できる事業は行っていく。

答 児童課長

(3) 合併後、旧町村の旗を用いている会もある。
少しでも安くするため、まとめてやりたいということとで、（団体への）補助金を予算化した。

また、約1.4haの防災広場として、平島地区のひので公園が23年度末には供用できるので、広く市民に利用してほしい。

◀ 23年度末にオープン予定のひので公園（平島地内）

(5) 国も調査に入っている

ので、それが促進されるよう要望していきたい。

地震と台風の避難のあり方は違うことを前提に、防災計画を見直していきたい。

(6) 4月から、商工労政課を商工観光課に名称変更する。

文化、歴史的遺産や金魚をいま一度しっかりとPRしていくと思っています。

答 教育部長

(7) 時期は11月中旬予定で、新幹線を利用し1泊2日で広島県へ行く。

総動員数は生徒と随行等で44人を予定している。予算は2千10万円を計上し、1人当たり4万5千円ぐらいになると思っています。



答 市長

(4) 今後とも、用地選定に努力していきたい。

なお、東日本大震災にかんがみ、他学区との優先順位について再考せざるを得ないことも思っている。



杉 浦 敏 議員

全国で広がる住宅リフォーム助成の実施を

住宅リフォーム助成制度について、京都府与謝野町は町内業者発注を条件に、工事代金15%以内、限度額20万円を補助している。

今、制度が全国各地に広がり、補助金の10倍、20倍の経済効果が上がっている。国の支援も研究し、市も実施してほしいがどうか。

優先順位から
考えていない

答
市長

制度は理解するが具体的な必要となると、地方自治事業の優先順位を考えなければならぬ。

現状としては、助成制度は考えていない。国の交付金制度は勉強していきたい。

バスをの病院行きをもっと早く

問

コミュニティバス【】について聞く。

住民調査等を踏まえ、4月より路線、ダイヤ改正等を

行った。主な改善点は①東部ルートの昼時間帯に左右回りの交互運行を実施②東部と南部ルートが合福祉センターまで延伸③バス停を71から83に増加④定期券の発行—などを実施した。

(1) 70歳以上と障害者を無
料【】にすべきではな
いか。

現在、障害者は100円で、75歳以上が無料である。

(2) 可能な限り、以前あったバス停を復活するように検討してほしいかどうか。

(3) 東部ルートで海南病院へ(平日に)一番早い便は、

すべての希望に
沿うのは困難

午前9時53分着しかない。
何とか工夫してほしいが
どうか。

バス停は5カ所である。
バス停増加は、到着時間
が延び、減便や経費増加も
考えられる。今後のバス停
復活や新規設置は、慎重に
進めていきたい。

(1) **答** 防災安全課長
受益者負担が

(1) 受益者負担が原則だと
思っており、収入減少はバ
ス存続にかかわる問題であ
る。

無料化は現在考えていな

(2) い。4月より13カ所増設、

1カ所を廃止し、復活した

23年度行うアンケート等の結果によって、ダイヤ、ルート等に不都合な点があれば、検討していきたい。

[illegible]

渡 邊 昶 議員



一般競争入札の基準、実績
はどうか

問

入札について聞く。

- (1) 業者の選定基準は。
- (2) 業者の格付け基準は。
- (3) 指名競争入札と一般競争入札【一】の区分はあるか。



公共工事等で官公庁が実施業者を決める入札制度の一つ。一定の参加条件を満たす者が自由に参加できる。

最低金額の入札者を落札者とする方法や、金額や性能等を評価し決定する総合評価方式がある。

指名競争入札は、複数の入札参加者を官公庁があらかじめ選定して入札させる方式を言う。

- (4) 一般競争入札は今までに何件あったか。
- (5) 電子入札の良い点は何か。

時間短縮、事務の簡素化、談合防止になるか。

- (6) 市において地元の土木建設業者の定義はあるか。
- (7) 例えば、市内に事務所を借り、資材置き場もなく

仕事を進める者は、市内業者として認めることができるのか。

- (8) 地元業者の育成、保護は重要だと思いがどうか。

土木工事8千万
実績は10件

答 総務課長

- (1) 要領に基づき、入札参加資格者名簿に登録された業者から選定している。
- (2) 2年に一度、申請により格付けをしている。

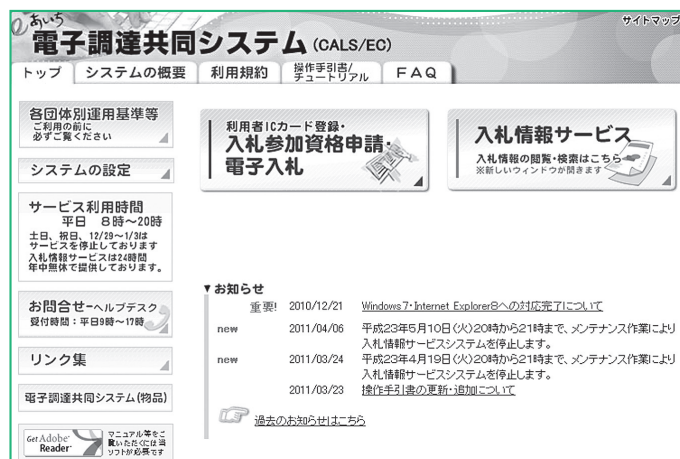
土木と建築一式工事は3ランク、舗装とその他の工事は2ランクで格付けしている。

- (3) 土木一式工事は8千万円以上、建築一式工事は1億5千万円以上、舗装とその他の工事は1億円以上を

一般競争入札の対象としている【金額の記載はすべて設計金額】。

その額を超えない建設工事は、指名競争入札として

電子入札のホームページ



が24時間誰でも可能で、インターネットを利用して入札書等の提出を行うことができる。

入札の競争性、透明性、公平性を高め、事務の簡素化が図れる。

また入札参加者は、入札会場へ来ることがなく、移動コストが削減できる。

- (6) 市内に本店がある者を「市内業者」、支店がある者を「準市内業者」として整理している。

答 副市長

- (7) 本店、支店の認定基準、これをきちんとしていきたい。

もともと丸投げはできない行為であり、排除していきたい。

- (8) 指名競争入札の場合、工事金額に応じ業者数を決めており、まず地元へ本店、支店がある業者を指名している。

中山 金一 議員



米の消費拡大のため、全校の学校給食を完全米飯化に

問

蒲郡市は22年10月から、原則週5日を米飯給食にしたと聞いた。

米の消費拡大のため、給食を完全米飯化できないか。

価格差があり困難。現状を維持

答 教育課長

給食費は基本的に保護者負担で、食パン（40円）と米飯（50円）の価格差が10円あり、困難と考えている。パン、麺など献立のバランスもあり、当面は現在の回数（週3.5回）でいきたい。

計画中的新庁舎の概要は

問

新庁舎建設について、庁舎改築等検討委員会【】の結論として、隣地を含めて総合的に改築する案が取りまとめられたと聞けるが、次の事項を尋ねる。



現庁舎は耐震性が低く、築後44年が経過し老朽化等が著しい。この問題を協議する委員会、区長会長等公職者と公募委員2人の計10人で組織している。第1回は22年8月に開催。耐震化工事は①今後の耐用年数的に費用対効果が低い②室内補強で使い勝手が悪化し等の問題からやめ、新築すべきと方向付けされた。

第2回は22年12月に開催。合併推進債（財政状況により国の支援が受けられる借金）が活用できる28年度までの完成および床面積1万㎡を想定した上で、①(a)市街化調整区域は法規制により建設できず、(b)市街化区域の大部分は床面積3千㎡以下の制限がある。従って移転新築を見送る②十四山支所改築は人口分布上、市の中心から遠い等の理由から、「現在地に新庁舎建設」を決定した。

(1) あま市は、市民病院建て替え予定地に、調整区域を検討している。

県の開発許可を得れば、市も（調整区域で）庁舎建設が可能だと思うがどうか。

(2) 将来的な発展を考え、西端ではなく市の中心に建設すべきではないか。

(3) 新庁舎の概要計画

(4) 建設費の見通し

(5) 市債残高の見込み

7階建て1万㎡ 37億を例示した

答 総務部長

(1) （許可が出るかの）可能性は他自治体であり判断できないが、病院は特例があり、その中で調整を進めるとのことである。

庁舎は許可を得ることはできないと理解している。

(2) 1万㎡をまとめて取得できる場所があるかという問題がある。

用地取得財源も考えれば、再検討は考えづらい。

答 総務課長

(3) 今後、基本構想を作

成する中で詳細を決めていく。

例として挙げたものは、庁舎棟が地上7階建て9、856㎡、附属施設が地上3階建て1、224㎡と想定し、概算工事費は36億8、800万円、駐車場は100台ほどだと考えている。

(4) 合併推進債（借金）で事業費の9割が充当できる。残り1割は基金（貯金）を取り崩すことで対応していきたい。

(5) 23年度末の残高見込は約173億円、市民1人当たり約39万円である。



堀岡 敏喜 議員



地デジ化対策として、 役所内に総合窓口の設置を

問

地デジ化について聞く。

(1) ケーブルテレビ事業は地デジ化の啓発も含み、防災情報など有用な情報を発信している。

契約率、今後の取り組みについて聞く。

(2) 役所の中に相談窓口の設置が必要ではないか。

(3) 不要テレビの不法投棄について、行政は監視強化と広報活動に努めるべきだが、対策は考えているか。

8月中旬まで相談コーナー設置

答 企画政策課長

(1) 1月末現在、6、754世帯が加入し、加入率42・3％である。
加入促進策として（ケー

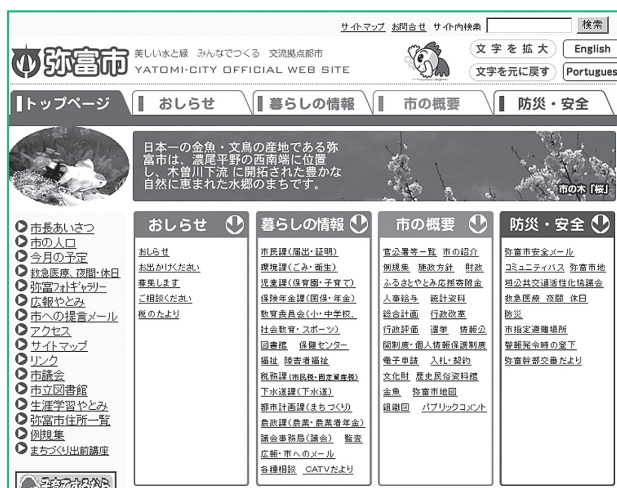
さらに、買い替えを行わない場合も、今後、積極的に小売店に引き取ってもらいよう、協力を求めている。

ホームページの改善を

問

市ホームページ（11左写

真）は検索能力の向上、携帯電話でも見られるようにするなど、まだ工夫を凝らす必要があると思う。



また、東日本大震災で活躍したツイッター「」の導入を、ホームページのリニューアルと併せて検討してほしいがどうか。

利用者が同士がインターネット上で、つぶやき（11ツイッター）と呼ばれる140文字以内の短文を送り、相互に読むことができる。短文という参加しやすさから、利用者は国内1千万人とも言われ、投稿型の新しいコミュニケーションサービスとして注目されている。

リニューアルを検討している

答 人事秘書課長

市ホームページは合併時に作成、5年が経過し機能、運用面ともに課題も抱えている。

現在、リニューアルを検討しており、事業の優先順位の中で取り組んでいきたい。

ツイッターはこのたびの災害を教訓に、他市の状況も研究して市はどうしていくのか、今後とも幹部会等で協議していきたい。

山口 敏子 議員



弥富中学校東側の信号機に 歩行者用信号機の設置を

問

通学路について聞く。
(1) 通学路を再点検し、見直してみてもどうか。

市役所東の通学路は歩道はないが、グリーンの塗装でとても目立つ。歩道がない狭い道に、カラー塗料を付けてはどうか。

(2) 弥生小学校の通学路で、田んぼ道を通っている所があるが、どう改善したのか。
(3) 弥富中学校東の信号に、歩行者用信号がまだ付けられていない。
早急に対策を立ててほしいがどうか。

予算的に厳しいと聞いている

答 教育課長

(1) 通学路は基本的に毎年

度(確認し)、学校が教育委員会に図面を提出しており、不具合があった場合、年度途中で見直すこともある。

カラー塗装は関係課との協議になると思う。

(2) 先般、道の一部を改修した。狭いが車が通らないという面で、安全性は確保されていると思う。

答 教育部長

(3) 県公安委員会へ確認したところ「予算的に厳しい」「要望は聞いており、できるだけ早く要望に沿うよう設置していきたい」と回答を得ており、もうしばらく待つてほしい。

金魚市場は見学
できるのか

問

金魚によるまちおこしについて聞く。

(1) 毎年1月に行われる「金魚初市」は、テレビか新聞で見えるぐらいで、市民も一度は見てもいい。

出荷額日本一を誇る金魚を、全国に発信してはどうか。

(2) 金魚をモチーフにした商品開発について、お土産に安価で日持ちするものはないかと思う。

蟹江町ではあめを売っており、500円を出せば袋いっぱいになる。

また、国道1号沿いの商



金魚初市(1月12日・平島町地内)

工会有る産業会館は、ガラス張りの建物で金魚鉢のようである。

金魚のシールなどを貼れば、車で通る人にも弥富をアピールできるのではないか。

観光マップで見
学可能をPR

答 商工労政課長

(1) 弥富金魚漁業協同組合への予約が必要だが、現実に見学を受けている。

また、競り市の開催日等を観光マップに掲載し、アピールしていきたい。

(2) 商品開発はグッズからお土産まで幅が広く、関係団体や関係者に取り組んでもらう必要があると感じている。

商品ができればPRに努めていくことが、市の役割であると承知している。

今後とも関係団体、機関と連携を図りながら努力していく。



プロに教わり初挑戦

ジュニアゴルフ教室が3月28日、名古屋港ゴルフ倶楽部富浜コースで開催されました。

参加した小学生27人は、クラブが軽く初心者でも扱いやすい「スナッグゴルフ」に初挑戦。講師に塩谷育代プロなどを迎え、子どもたちは楽しみながらゴルフを学んでいました。



語り部が第10回

地域の高齢者等の有志二十数人が主催する「語り部発表会」が4月9日、総合社会教育センターで開催されました。

発表会は14年の第1回以来、第10回目。地域にまつわる昭和初期の民話、戦争体験談など15話が披露され、会場では、懐かしさに来場者が何度もうなずいていました。

右・左・右を忘れずに

安全な自転車利用を学ぶ交通安全教室が4月13日、十四山中学校で行われ、1年生約70人が参加しました。

蟹江警察署員の注意を聞いた後、実際に校舎周辺約2kmを自転車で走行。教師やPTA役員の指導を受けながら、おろそかになりがちな左右確認を重点的に学んでいました。

